



問題形式と内容

質問、報告、依頼などの短い文を聞いた後、すぐにそれに合う答え方を考えます。



最初に聞く文は次のようなものです。

- ・質問する、依頼する、申し出る、許可を求める
- ・何かについての意見・感想・主張を述べる、説明する
- ・謝る、お礼を言う、褒める、あいさつする

実際に会話に参加しているつもりで、これらの文に対する返事を選びます。



最初の文を聞くときは、次のような点に注意して聞きます。

- ・だれが(話し手と聞き手のどちらが)それをするか
- ・その話題について話し手はどう思っているか
- ・その出来事は起こったか、起こっていないか

そのほか、会話でよく使われる表現やイントネーションに注意して聞くことが大切です。

1-A 「だれがするか」を聞き取る

使われている表現に注意して、そのことを「だれがするか」を理解します。

	話し手がする		聞き手がする
許可 求め	~させて+ほしいんだけど ください/くださいませんか もらえる?/もらえない? もらえませんか いただきたいんですが いただけませんか くない?/くれませんか ~ても+ いい?/いいですか いいでしょうか よろしいでしょうか	依頼	~て+ほしいんだけど ください/くださいませんか もらえる?/もらえない? もらえませんか いただきたいんですが いただけませんか くない?/くれませんか くれる(もらえる)と助かるん ですが(ありがたいんですが)
申し 出で	~ましょうか/~ようか/~ますね	提案・指示	~たら+どう?/どうですか ~ば+ いいんじゃない? いいと思います ~たほうがいいですよ

*「~ておく」が一緒に使われる場合、「~とく」「~ときます」「~といて」「~とこう」のように音が変化します。(→「I 音声の特徴に慣れる」)

- 例 ① 置いといてもらえる?
 ② 買ったときでしょうか。

れんしゅう
練習 1-A

かいわ き 話を聞いてください。おとこ ひと おんな ひと はな 男の人が女の人に話しています。だれがしますか。A12

- (例) 用意する (男 ・ 女)
 (1) 予約する (男 ・ 女)
 (2) 使う (男 ・ 女)
 (3) 試す (男 ・ 女)
 (4) 直す (男 ・ 女)
 (5) 置く (男 ・ 女)
 (6) 電話する (男 ・ 女 ・ 鈴木さん)

1-B 「話し手はどう思っているか」を聞き取る

いけん ほうこく ぶん りかい 意見や報告などの文を理解するときは、その話題について話し手がそうだと思っているか、違うと思っているかに注意します。なか でも まちが ひょうげん 「～じゃない(と思います)と「～んじゃない(かと思います)」があります。

A13 (例1) これじゃない。／これじゃないと思います。

(例2) これなんじゃない？／これなんじゃないかと思います。

れい1の「これじゃない」は「これではない」という否定の意味で、文末が下がります。れい2の「これなんじゃない？」は反対に「これだ」という肯定の意味で、文末が上がります。「と思う」に続くときは、イントネーションが同じなので、「か」があるかないかに注意して聞きます。

「～んじゃない」はほかにも次のような形で使われることもあります。

- ・ おいしいんじゃないの？ = おいしいと思う
- ・ 行ったんじゃないかな。 = 行ったと思う
- ・ できないんじゃないでしょうか。 = できないと思う

れんしゅう
練習 1-B

ぶん き 文を聞いてください。おんな ひと いけん あ 女の人の意見と合うのはどちらですか。A14

- (例) (いい) ・ よくない)
 (1) (やすい) ・ 安くない)
 (2) (はな 話せる) ・ はな 話せない)
 (3) (べんり 便利だ) ・ べんり 便利ではない)
 (4) (たなか 田中さんだ) ・ たなか 田中さんではない)
 (5) (これだ) ・ これではない)

1-C 「起こったか、起こっていないか」に注意して聞く

意見、報告、感想を理解するときは、説明されている出来事が実際に起こったかどうかを考えることも大切です。特に、夕形が使われていても実際には起こっていないことを表す表現に気をつけます。

【実際に起こった】

- ・～て～た (例) 行ってよかった。
- ・(夕形) ところだ (例) 帰ったところだ。

【実際には起こっていない】

- ・～そうだった／そうになった (例) 泣きそうだった。／落ちそうになった。
- ・～たかった／てほしかった(けど) (例) 会いたかったんだけど。／見に来てほしかったな。
- ・(辞書形/夕形) つもりだった (例) 返すつもりだった。／入れたつもりだった。
- ・(辞書形) ところだった (例) 忘れるところだった。
- ・～ようと思っていた(けど) (例) 渡そうと思ってたんだけど。
- ・～ようとしたら (例) 出ようとしたらあめがふってきた。

練習 1-C

男の人の話を聞いて、実際はどちらかを選んでください。 (A15)

- (例) (遅刻した) ・ 遅刻していない)
- (1) (負けた) ・ 負けていない)
- (2) (間に合った) ・ 間に合っていない)
- (3) (参加した) ・ 参加していない)
- (4) (行った) ・ 行っていない)
- (5) (電話をかけた) ・ 電話をかけていない)
- (6) (頼まれた) ・ 頼まれていない)
- (7) (入れた) ・ 入っていない)
- (8) (出かけた) ・ 出かけていない)
- (9) (座った) ・ 座っていない)
- (10) (なくした) ・ なくしていない)

1-D イントネーションに注意して聞く

同じ表現でも、イントネーションによって意味が変わることがあります。イントネーションに注意して、何かを報告している文なのか、相手に聞いている文なのかを理解する必要があります。

- (A16) (例1) これ、昨日買ったの。(=「昨日買った」ことを報告する)
- (例2) 来週のパーティー、来ないの? (=「来ない」かどうか聞く)
- (例3) 今日は、お弁当、要らない。(=「要らない」ことを報告する)
- (例4) あの映画、一っ緒に見ない? (=「見る」かどうか聞く)
- (例5) リーさん、今日休むって。(=「休む」ことを報告する)
- (例6) え? 休むって? (=「休む」ことを確認するために聞く)
- (例7) さっき食べてきたんだ。(=「食べてきた」ことを報告する)
- (例8) あ、携帯電話、替えたんだ。(=「替えた」ことを確認する)

例題 1-D

文を聞いてください。どちらですか。 (A17)

- (1) (報告している文) ・ (聞いている文)
- (2) (報告している文) ・ (聞いている文)

答え (1)聞いている文 (2)報告している文

(1)は、文末を上げて、相手に新聞がどこにあるか聞いています。


(2)は、文末を下げて、「知らない」ということを報告しています。

◆スクリプト

(1) 新聞、知らない？

(2) それ、知らない。

練習 1-D

文を聞いてください。どちらですか。 

- (1) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (2) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (3) (報告している文 ・ 確認している文)
- (4) (報告している文 ・ 確認している文)
- (5) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (6) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (7) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (8) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (9) (報告している文 ・ 聞いている文)
- (10) (報告している文 ・ 聞いている文)

1-E 会話でよく使われる表現に注意して聞く

ここでは、最初の文を聞いて、その機能をすぐに判断する練習をします。会話でよく使われる次のような表現に注意します。

機能	表現	例文
質問 (確認)	～つけ	あれ、試験って木曜日 <u>だ</u> つけ。
	～の？	あ、佐藤さんって、結婚して <u>る</u> の？
提案	～たらどう？	こっちの色にしたら <u>どう</u> ？
	～たほうがいい	もっと大きくしたほう <u>が</u> いいよ。
指示	～なくちゃ／～なきゃ ～ないと	もっときれいに書か <u>なく</u> ちゃ。 そろそろ行か <u>ない</u> と。
申し出	～ましょう(か)	荷物、持ち <u>ま</u> しょうか。
誘い	～ませんか／～ましょう	一緒に行き <u>ま</u> せんか。
感想	～といたら／～っていたら	休日の混雑 <u>っ</u> ていたらすごいよ。
	～なんて	4月に雪が降る <u>ん</u> た。
報告	～(んだ)って	田中さん、会社辞める <u>ん</u> だ <u>っ</u> て。
	～ちゃう／じゃう(=てしまう)	あ、忘れ <u>ち</u> ゃった。

★例題 1-E

文を聞いてください。どれですか。 

- (確認 ・ 感想 ・ 報告)

◆スクリプト

小林さん、あしたから出張だっけ。

練習 1-E

文を聞いてください。どれですか。

- | | | | |
|--------|----|-----|-----|
| (1) (| 確認 | 感想 | 報告 |
| (2) (| 確認 | 感想 | 報告 |
| (3) (| 確認 | 感想 | 報告 |
| (4) (| 確認 | 感想 | 報告 |
| (5) (| 確認 | 感想 | 報告 |
| (6) (| 質問 | 指示 | 申し出 |
| (7) (| 質問 | 指示 | 申し出 |
| (8) (| 質問 | 指示 | 申し出 |
| (9) (| 質問 | 提案 | 報告 |
| (10) (| 指示 | 申し出 | 誘い |

2-A 応答のパターン

次に、返事の文について考えます。会話では、ある文とそれに答える文には、次のような関連があるのが基本です。ここではまず、会話のパターンに沿って話の流れがどううかに注意します。

はじめの文	答える文
質問 (例) 晩ご飯、何が食べたい？	情報提示 (例) 天ぷらがいいな。
(例) あの映画、見たことある？	肯定 (例) うん、見たよ。
	否定 (例) ううん、まだ。
誘い・依頼・申し出・許可求め・提案・勧め	受け (例) いいよ。行こう。
(例) あした映画見に行かない？	断り (例) うーん、あしたは無理だな。
苦情・注意	謝り (例) あ、すみません。
(例) ここに車を止めないでください。	反論 (例) ここは止められるところですよ。
意見・感想・主張	同意 (例) そうだね。そっちがいいね。
(例) こっちの方が軽くていいと思うな。	不同意・反論 (例) でも色はこっちがいいんじゃない？
報告	感想(驚き・怒り)・了解など (例) えー！ 知らなかった。
(例) あの人、結婚するんだって。	アドバイス・励まし・共感など (例) お医者さんに診てもらったらどう？
愚痴・相談	謝り・感謝 (例) 遅くなってすみません。
(例) 遅くなってすみません。	受け (例) いえいえ、大丈夫ですよ。
褒め・勧め	謙遜・お礼・断り・遠慮 (例) 素敵な洋服ですね。
(例) 素敵な洋服ですね。	(例) 古い物なんですけど。
あいさつ	あいさつ・お礼 (例) お先に失礼します。
(例) お先に失礼します。	(例) お疲れ様でした。

また、話している状況や伝えたい内容を理解するために、次のような決まった表現にも注意します。話している状況や伝えたい内容を知る手がかりになります。

【あいさつなどに使われる表現の例】(「-」は答え)

会ったときのあいさつ	お礼	受け
先日はどうも お世話になっております ご無沙汰しております お変わりありませんか -おかげさまで -相変わらずです ごめんください	お世話になりました 助かりました わざわざすみませんでした 悪いなあ/悪かったね	どういたしまして 構いません (それで)結構です
別れるときのあいさつ	謝り	その他
お気をつけて (お先に)失礼します お大事に お疲れ様でした ご苦労様でした お邪魔しました	ご迷惑をおかけしました すまなかったね 申し訳ございません 悪いね/悪かったね	(いいえ、)結構です<断り> 申し訳ないんですが<断り> 悪いんですけど<断り> とんでもないです<謙遜> お口に合うかどうか<勧め> -お構いなく<遠慮>

練習 2-A

文を聞いて、それに対する返事の文を聞き、よい方を選んでください。

- (例) (a ①)
- (1) (a b)
- (2) (a b)
- (3) (a b)
- (4) (a b)
- (5) (a b)
- (6) (a b)

2-B 間接的な答え方

実際の会話では、2-Aのような応答のパターンに合わないように見える場合があります。例えば、次の(3)はどんな意味でしょうか。

例 男：一緒に行きませんか。

誘い

女：(1)ええ、行きましょう。

受け

(2)ごめんなさい、今日は行けないんです。

断り

(3)ちょっと、熱があるんです。

?

男の人は女の人を「行きませんか」と誘っているので、女の人は(1)や(2)のように、行くか行かないかを答えるのが基本です。しかし、(3)では、「熱があるんです」と質問とは直接関係のなさそうなことを答えています。

これは「熱がある」から「出かけられない」ということを相手に想像させ、それによって間接的に「断っている」ので、応答のパターンに合っています。

このように、断ったり反論したりするなど、相手にとって残念な答えの場合には、特に(3)のような間接的な答え方が多く使われます。

練習 2-B

会話を聞いてください。女の人の返事が「同意や受け」など肯定的なら○、「不同意や断り」など否定的なら×を選んでください。

- (例) (○ · ⊗)
- (1) (○ · ×)
- (2) (○ · ×)
- (3) (○ · ×)
- (4) (○ · ×)
- (5) (○ · ×)
- (6) (○ · ×)

2-C

音の高さや長さに注意

同じ表現でも、音の高さや長さなど、言い方によって意味が変わることがあります。また、話す前に出す短い「あ」や、低くて長い「あー」などの音声にも注意が必要です。

★ 例題 2-C

文を聞いて、それに対する返事の文を聞き、不同意や断りを表す方を選んでください。



- (1) (a b)
 (2) (a b)

答え (1)b (2)b

「そうですね」と最初を強くするのは同意、「そうですねえ」と最後に低く伸ばすのは疑問や不同意を表します。また、話す前に(1)「うーん」(2)「あー」と、低く長い声を出していますが、これは不同意や断りなど、相手にとって残念な情報を伝えようとしているときに、よく使われます。

◆ スクリプト

(1) 男：前の案より今回の方がいいと思うんですが。

女：a うん、そうですね。

b うーん、そうですねえ。(不同意)

(2) 男：日曜日、暇だったら一緒に映画に行きませんか。

女：a あ、日曜日ですか。

b あー、日曜日ですかー。(断り)

練習 2-C

文を聞いて、返事の文を聞き、不同意や断りを表す方を選んでください。



- (1) (a b) (2) (a b)
 (3) (a b) (4) (a b)
 (5) (a b) (6) (a b)

★ 確認問題



まず文を聞いてください。それから、それに対する返事を聞いて、1から3の中から、最もよいものを一つ選んでください。

- (1)

1	2	3
---	---	---

 (2)

1	2	3
---	---	---

 (3)

1	2	3
---	---	---

 (4)

1	2	3
---	---	---